

新型コロナウイルス対応状況チェックリスト（感染管理の責任者用）

資料 3

確認事項		状況			説明
		できている	まあまあできている	あまりできていない	
<b>I 日常の取組</b>					
健康観察	①	職員の体調管理に努めており、微熱、鼻汁、咽頭痛、咳等、軽い症状であっても検査・受診・休暇取得を促している			
消毒	②	職員や入所者の動線に沿って消毒薬を設置し、減り具合を観察する等、消毒の評価をしている			・本県で令和3年9月～10月に陽性が確認された職員のほとんどが、微熱、鼻汁、鼻閉、咽頭痛等の風邪症状（軽症）でした。軽症でも抗原キットで検査し、早期に発見することができました。 ・消毒、換気等は慣れることで細かい取り決めがおろそかになる場合があります。正しい方法で取り組まれているかを点検しましょう
	③	手すりやドアノブ（居室やトイレ）等、複数の人が触れる場所は毎日定期的に消毒している。する人を決めている			
	④	手すりやドアノブの消毒に次亜塩素酸ナトリウム液（塩素系漂白剤）の希釈液を使用する場合、必要な量だけ作り、作り置きをしないように指導している。原液は直射日光の当たるところや、高温の場所には置かない等保管に注意している			
換気	⑥	居室、デイルーム、事務室などは定期的に窓を開けて換気している。換気する人を決めている			
啓発	⑦	休憩室、洗面所、更衣室に感染防止策のポスターを掲示する等、取組を促している			
ACP	⑧	（平時から入所者、家族とACPの概念に基づき医療的処置を受けるか（コロナに感染し、病状が悪化した時に、人工呼吸器を装着するか）の意思確認を行っている			・入院時に病院から、病状悪化時、気管切開を行い人工呼吸器を装着するか否かについて、本人・家族の確認を依頼されることが多いです。コロナに関わらず、ACPの取組が求められます
<b>II 感染拡大防止対策を講じた通常の介護</b>					
マニュアル	①	国の「介護現場における感染対策の手引き」「介護職員のための感染対策マニュアル」を確認している			・陽性者、濃厚接触者への対応は夜勤時間帯から始まることが多いです。いつでも誰でも適切なケアができるよう、準備が必要です。
	②	施設の感染症対応マニュアルを作成、職員に周知している。分かりやすい場所に配置している			
	③	施設の感染症対応マニュアルの沿ったケアが行われているか確認している			
	④	BCPを作成し、訓練を実施している。BCP作成に向けた検討をしている			
<b>III 新型コロナウイルス感染症発生時の対応</b>					
流れ	①	職員や入所者に陽性が確認された場合に行う事（対応の流れ）について知っている			
体制整備	②	発生時の施設内の連絡体制、職員の役割分担を決めている			・発生時の流れについては県のHPに掲載していますので確認ください
	③	他施設から応援職員の派遣を受ける場合の体制（受け入れ担当者の配置、業務についての資料等）を検討している			
連絡体制	④	情報伝達・情報共有・業務の指示等の方法を職員と確認している			・職員や家族への連絡は時間外になることが多いです。簡単にできるよう準備をお勧めします ▶発生施設の例：あらかじめ携帯電話のショートメールサービスを契約しており活用した
	⑤	時間外でも職員1人1人に簡単に連絡する手段を検討、準備している			
	⑥	入所者家族への説明（口頭、通知等）がスムーズに行えるよう、連絡方法や説明内容の案を用意している			
環境整備	⑦	陽性者が入院までの間過ごす部屋を決めている。個人防護具、消毒薬、ゴミ箱等の設置のイメージを持っている			・職員が一体となって対応するためには、業務の指示伝達、情報の共有が重要です。一方で、管理部門は対応すべきことが多いため、タイムリーな情報提供が難しくなります。 ▶発生施設での例：ホワイトボードに指示・情報を記入（掲示）し、職員が情報を待つのではなく、自ら入手する体制に切り替えた
介護	⑧	陽性及び濃厚接触者となった入所者へのケアについて職員と確認している（清潔保持、食事、排泄介助等）			
備蓄	⑨	職員が個人防護具の正しい着脱方法を勉強、経験する機会を作っている			・発生施設からは、「感染性廃棄物の量は想像以上だった」という感想を頂いています。
	⑩	個人防護具を備蓄している。不足した場合の注文先、方法を知っている。保健所に備蓄があることを知っている			
廃棄物	⑪	陽性者、濃厚接触者用の食事の提供方法について栄養部と確認している。ディスポの食器を備蓄している			
廃棄物	⑫	使用した個人防護具、ディスポの食器等が安全に廃棄できるよう準備している。（処理業者との打ち合わせ、保管場所のイメージ、ゴミ箱の準備等）			
<b>IV 心の健康管理</b>					
偏見除去	①	誰が感染しても不思議ではないことを説明し、感染した職員を責めない雰囲気づくりをしている			・コロナ禍に於いて、職員の心が折れないために必要なことは『コミュニケーション』と『リスペクト』とのことでした。（兵庫県立大学小山特任教授：12月3日「令和3年度介護老人保健施設島根県大会より」）
職員支援	②	感染した職員へのサポート体制を構築している（担当者の配置、相談窓口の確認等）			
職場づくり	③	挨拶や声かけ、職員同士の会話等を推奨し、職場全体でコミュニケーションを大事にしている			
	④	職員の頑張りを評価し、リスペクトする思いを職員に伝えるよう努力している			